

KFCと尚綱学院大がつくる名取のメディア

八ナモモ通信

2016年 9月

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚綱学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991



地域の歴史学が

歴史愛好家ら多数参加

館腰公民館

館腰の歴史を知ること
 地域のコミュニティを深
 める講座「地域を知る講座
 ～歴史編～」が9月8日、
 館腰公民館で開催されまし
 た。

講師の日本考古学協会会
 員、太田昭夫さん(64)が、
 東北最大級の古墳である雷
 神山古墳の歴史を詳しく紹
 介。古墳が作られた時代の
 埋葬方法や文化を、太田さ
 ん自ら調査した写真や絵を
 使って説明しました。学校
 の授業では分からない古墳
 の恰好よさと面白さを実感
 できる講座でした。



地域を知る講座～歴史編～

受講者の八代衛さん(80)
 は、「地域をもっと知りた
 いという気持ちからこの講
 座を受けた。今回の古墳の
 話はとても面白かった」と
 話していました。大槻寿夫
 さん(72)は、「もともと
 歴史研究会に所属している
 ので、この講座に興味があ
 ったので受講した。太田さ
 ん自らが調査した内容の講

ゆりが丘公民館

約千年前に存在した都か
 ら国府多賀城に至る官道、
 東山道とほぼ一致するとい
 われている「あずま街道」
 を歩いた歴史上の人物や、
 881年から1138年ま
 で伝承が残る「名取老女」、
 当地で亡くなった「藤原実
 方」にまつわる謎に迫る「ゆ
 りが丘歴史ヒストリア」謎
 の多い藤原実方と名取老女
 について」が9月13日、
 ゆりが丘公民館で開催さ
 れ、約25名の方が参加しま
 した。

講師を務めた鈴木次郎さ
 ん(77)は、「地域の素晴
 らしさを、文化遺産と歴史
 のほうから知っていただき
 たい。これからも、あずま
 街道や名取の神社について
 の講義を開催したい」と述

座は特別な楽しさがあった
 よかった」と話しました。
 講師の太田さんは「地元
 の歴史にはそれぞれの歩み
 があった、それを知ること
 により地域の特質、名取に
 しかないもの館腰や愛島の
 特徴を皆で明らかにするこ
 とにより地域作りに生かし
 てもらいたい」と述べまし
 た。(青田 汐里)

べました。

受講者の遠藤智子さん
 (70)は、「歴史がもとも
 と好きだったので、このよ
 うな講義を受けるのはとて
 も楽しい、次回も楽しみに
 しています」と話しました。
 (青田 汐里)



ゆりが丘歴史ヒストリア



キーワードは「公共財」

里山再生プロジェクト

本年度4月から活動を始
 めた里山再生プロジェクト
 が第5回目を迎えました。

同プロジェクトは、尚綱
 学院が所有する同大学周辺
 の里山を再生させるという
 取り組み、「光と風の森」
 「学びと遊びの森」「安ら
 ぎの森」をコンセプトに将
 来、学生や市民の交流の場
 とすることを目指していま
 す。

当日は16名が参加、大学
 敷地の西側斜面エリアのや
 ぶ刈りや樹木に絡まるつる
 の伐採を行いました。ゆり
 が丘に開校以来手つかずだ
 った山にはやぶやつるなど
 が生い茂り、太陽の光が届
 かないような場所でしたが
 作業をするにつれ見晴らし
 がよくなり水平線を見渡せ
 る景色になりました。
 参加した同大学人間心理



今回参加したメンバーの方々



だいが開けてきました

学科1年でボランティア活
 動にも参加する畠山大地さ
 んは、「楽しく参加させて
 もらっています。地域やN
 POの方々とも繋がりがで
 き色々勉強になります」と
 と話してくれました。

当日、女性一人の参加と
 なった、佐藤尚子さん(仙
 台市)は、「私自身、山好
 きということもあり、協力
 させてもらっている。学生
 地域の方、園児たちが自然
 の中で活動できる場所にな
 ってきたらいい」と話しまし
 た。

同プロジェクトの代表で
 もある尚綱学院の佐々木公
 明理事長(72)は取り組み
 について「この山は尚綱学
 院の私有地になっっている
 が、周りからも見える公共
 財。景観もあるが、山の中
 に入れば心が豊かになる。
 地域の方々や子供たちにも
 安全に楽しんでもらえるよ
 う今後も取り組みたい」と
 話しました。

次回は10月8日(土)。
 参加希望者は学校法人尚綱
 学院経営管理部総務課02
 2(381)3332

きらり なとり ひと☆

コマ名人 鮮やかな技

来月、尚綱学院大でも披露

仙台市緑の森幼稚園で毎年開かれる「コマ名人」と、尚綱学院大の安藤正樹准教授(58)によるコマ道場が6月19日に開催され、50人を超える子供たちが参加しました。



安藤准教授

安藤准教授は、東北各地の児童館・保育所・幼稚園で昔の遊びや文化を子供たちに広げる活動をしていきます。今回のコマ道場では、「一生懸命練習すること」「仲良く練習すること」「優しく教えること」の三つの約束事の下、空中で投げたコマを手の平に乗せる「燕返し」や、上級者向けの「綱渡り」、楽しく実践できる「線香花火」「金魚すくい」など、様々な技を披露し、



子供たちも夢中になってコマを投げたり、新しい技に集中したりして昔の遊びを楽しんでいました。安藤准教授は、「親だけの子育てではどうしても限界があるので、自分が得意



説明を真剣に聞く参加者

なコマを、ガキ大将のようになって教えている。遊び文化の継承活動も、子供と一緒に遊ぶことが大切。私の教えを引き継ぐ人が出てきてくれたらうれし



い」と話していました。10月15、16日の尚綱学院大の尚志祭でも、学生サークル活動の「もくもくランド」で、コマ名人の実演を見る事ができます。昔ながらの遊び道具も多く展示する予定なので、是非足を運んでみてはいかがでしょうか。(青田 汐里)

お知らせ

河北新報普及センターから

プレゼント企画

絵のちから

「絵のちから」の鑑賞券をペアで20組にプレゼント!

日・米・中のアーティストによる復興をサポートする書・絵画展「絵のちから」(主催・河北新報社・東北本放送・東北福祉大学・未来絵PROJECT実行委員会)が仙台駅東口TFUギャラリーミニモリで開催されています。中国の天才書画家・婁正

日・米・中のアーティストによる復興をサポートする書・絵画展

婁正綱 Lou Zhengchang

たけし Bear Takashi

ウダグ Doug Webb

東日本大震災復興支援 未来絵PROJECT巡回展

絵のちから

Gallery Amini Mori Tfuギャラリー ミニモリ

2016年9月9日(金)~10月23日(日)

開館時間 午前9時30分~午後5時30分 (入場は5時までの毎週日曜休館)

綱!日本が生んだ奇才・ピートたけし!超々現実主義を極める米国の異才・ダグ・ウエブ!世界的な活動をす

る3大アーティストが被災地をアートで支援。▼場所、TFUギャラリーミニモリ東北福祉大学仙台駅東口キヤンパス(仙台市宮城野区榴岡2-5-26) 10月23日(日)まで開催。▼ご希望

の方は下記左住所「ハナモモ通信編集室」まで郵便番号、住所、氏名、年齢を明記の上、はがき、FAX、メールでご応募下さい。同時に応援メッセージも受け付けます。締切9月25日。

好評発売中

教育セミナーで講演いただいている個別教室のアツプル代表・畠山明氏と河北新報社販売部「学び応援チーム」が共著した「やる気」のモト。」(A5判/176ページ/1,080円(税込)が好評発売中です。子育て中のご父母の悩みを解決し、お子さまのやる気の本を育てる内容となっております。▼お問い合わせは、河北新報普及センター

子育て、学力アップにお悩みの
お母さん、お父さんに
オススメの本できました!!

やる気の本

畠山 明 河北新報社 学び応援チーム

●A5判 ●176ページ ●1,000円+税

宮城で20年
個別指導のプロ
畠山 明が語る
「やる気」と「学力」
を引き出す方法

お近くの
新聞販売店で
発売中!

畠山 明と学び応援チームが伝えたい、やる気がアップする「共有体験」

学生ライターへの応援メッセージ募集!!

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp



☆同時に「絵のちから」鑑賞券プレゼントも受け付けます☆

「ハナモモ通信」はおかげさまで創刊1周年を迎えます! 尚綱学院大と河北新報普及センターが協力して編集、発行する名取市限定のミニコミ紙「ハナモモ通信」は10月号で1周年を迎えます。これもひとえに取材にご協力いただいた方々と読者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。 河北新報普及センターでは、この1年間、名取市を舞台に様々な取材に駆け回ってきた同学の学生記者たちへの応援メッセージを募集します。

応募は、はがき、FAX、メールで郵便番号、住所、氏名、年齢を明記のうえ、左記住所「ハナモモ通信編集室」までお願いします。メッセージの一部は次月刊1周年号で紹介いたします。応募いただいた方には抽選で「かほびよんバスチヨロQ」を20名様にプレゼントします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。締切9月25日。

(住所) 〒980-0022
仙台市青葉区五橋1-11-10 河北新報普及センター FAX 27-8333